

H30学力向上アクションプラン(竹田市)

目標及び指標

【目標】	
達成指標	取組指標
①「付きたい力」を意識した授業力向上 ②生徒指導に課題のある小学校での教科担任制による学力向上 ③小学校の学力向上	
1. 「付きたい力」にそった「課題・まとめ」「めあて・振り返り」の整合性のある指導案が80%	①校内の提案授業や互見授業等の指導案のねらい・評価規準に着目し、年3回の教務主任・研究主任に指導案づくりで授業者と一緒に検討するように指導し、達成状況について報告・確認を行う。 ②校内研究等で学校訪問をした際は、必ず「付きたい力」にそった「課題・まとめ」「めあて・振り返り」
2. 教科担任制を行う小学校の4・5・6年生の「国語・算数」の学力調査の伸びが4月に比べて、11月の調査で全て+になる。 ※竹田市の平均を0として比較	①学力向上支援教員は他校支援で、教務主任・研究主任には自校の指導案検討の際に、生徒指導の3機能の視点で、本時の流れを検討し、児童が自分の変容や達成感を感じる場面の設定ができていのかどうかを提案授業・互見授業の時に確認させる。 ②教科担任制モデル校に小学校2校を指定し、モデル校で4・5・6年生において「国語・算数・理科・社会」で教科担任制に取り組ませる。
3. 11月の竹田市学力実態調査で、小学校4・5・6年生において、平均70点以上の学年が83%を上回る。 (29年度 27/36学年)75%	・指導教諭、学力向上支援教員、教務主任および研究主任は、提案授業や互見授業、指導案づくり、校内研究の際に、若手教員や授業改善において課題を抱える教員に対して、授業力向上のための指導や支援を行う ※達成指標1-②・③, 2-①において

行動計画

- ①「新大分スタンダード」に基づく組織的・計画的な授業構想による質の向上について
- 新大分スタンダード 1. 「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」
- 新大分スタンダード 2. 板書の構造化
- 「付きたい力」にそったねらいの書き方と評価規準の整合性の向上
 - 「付きたい力」にそった「課題とまとめ」「めあてと振り返り」「活動」の統一性
 ※授業のねらいの書き方「～を、～することによって(～を通して)、～できる(する)」の形
 - 学ぶ意欲につながる、自分の変容や達成感を味わうことのできる場面の設定
 ※「課題に対して「一人で予想(挑戦)」、「まとめ」「振り返り」で「再度、一人で思考・まとめ」を基本とした授業の日常化
- 新大分スタンダード 3. 習熟の程度に応じた指導
- 「努力を要する状況」の児童生徒に対する手だての工夫を指導案に記入
- 新大分スタンダード 4. 生徒指導の3機能を意識した学習の展開
- 学習の成果を実感させる単元・1時間の振り返りおよび評価
 ※「課題に対して「一人で予想(挑戦)」、「まとめ」「振り返り」で「再度、一人で思考・まとめ」を基本とした授業の日常化
 - 生徒指導に課題のある小学校での教科担任制
- ②「中学校学力向上3つの提言」に関して
- 提言1 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底
- 【生徒指導の3機能を意識した学習の展開】
 学習の成果を実感させる単元・1時間の振り返りおよび評価
 ※「課題に対して「一人で予想(挑戦)」、「まとめ」「振り返り」で「再度、一人で思考・まとめ」を基本とした授業の日常化
- 提言2 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築
- 竹田教育研究会教科部会での指導案・教材の作成等の授業づくり
 - 竹田市学力実態調査(11月)の問題作成・分析・検証・授業改善の手だて、定期テスト等評価問題の検討
- 提言3 「生徒と共に創る授業の推進」
- 教科ごとに「生徒による授業評価」を実施し、授業改善に反映する。
 - 目ざす学習像や授業像を、生徒が共有し、それに向かう学習集団としての目標を設定させ、定期的に振り返る活動の実施。
- ③新学習指導要領の実施に関して
- 小学校外国語への対応
- 29年度モデル校による授業公開と研究発表会
 - 小学校外国語指導力向上PTによる研修会(長期休業中2回)
 - 外国語活動および教科としての外国語30年度モデル校の教員、大分県英語推進リーダーにおける公開授業(年5回)
- 学校教育目標と総合的な学習の時間
- 竹田教育研究会「総合的な学習の時間」部会を中心とした、全体計画や教科と関連した指導計画の交流や検討
- 特別な教科 道徳
- 29年度モデル校による授業公開と研究発表会
- 特別支援教育支援員の配置
- 支援の必要な児童生徒の多い学校への支援員の増員
 - 特別支援教育支援員研修の開催
- 竹田市独自の学力実態調査の実施
- 4月-4年生
 - 11月-小学4・5・6年生、中学3年生